

受験者心得（オンライン筆記試験）〔法学部〕

<事前準備>

1. オンライン筆記試験を受験するに際しては、ネットワーク通信環境、パソコンまたはスマートフォン（撮影機能を有するもの）が必要となる。答案用紙や問題用紙を印刷するためにプリンターを準備することを推奨する。

手書き方式の場合、答案データの提出においては、答案用紙を撮影するほか、スキャナーにより答案用紙をスキャンしたデータ（PDFファイル）で提出してもよい（スキャンしたデータを提出する方法による時も、試験開始時の写真撮影は必要であるから撮影機能を有するパソコンまたはスマートフォンは用意すること（下記4.））。

PC利用方式の場合は、**Word(.doc、.docx)が利用できる（の編集ができる）** PC等の端末が必要となる（Zoom接続と解答を1台の端末で行うことは差し支えない）。

自宅等において受験することが困難である事情がある場合には、教室での受験を認める。希望する者は、別途掲示のとおり、教室受験を事前に申請すること。

2. 試験実施日の前日の正午までに、①パスワードを設定した試験問題、②試験の実施のためのZoomの情報（URL）、③答案用紙等の提出用Googleフォーム（URL）をUTASで通知する（UTASの掲示板「レポート・試験情報」）。①～③を確認し、試験問題(①)をダウンロードしておくこと。試験問題を開くためのパスワードは、試験開始と同時にZoom画面上で通知する。

当該科目の試験を受験する権利のない者（履修登録をしていない者）に対して、①～③および下記3.の答案用紙を提供してはならない。これに反する行為は、試験における不正行為として扱われる場合があるので注意すること。

3. 答案用紙は、手書き方式およびPC利用方式の2種類の様式をUTASにアップする。手書き方式の場合は**全ページ（3枚で1セット）**を印刷して用意しておくこと。印刷が困難な場合は、大学で答案用紙を配布する。配布場所や配布方法については、別途、掲示する。PC利用方式の場合は、事前にダウンロードし、ファイル名を【科目名-学生証番号-氏名.docx（または.doc）】に変更して保存しておくこと（PC利用方式でブロックが指定される科目については、ブロックごとに答案ファイルが必要なので、ブロックの数に応じたファイルを用意しておくこと。またファイル名については、「科目名」の後に（）でブロック番号を入れること）。

例：学生証番号01209876の法学太郎さんが「政治学」の試験を受験する場合

政治学-01209876-法学太郎.docx（または.doc）

ブロックが設定されており、第2ブロックの答案ファイルの場合

政治学(2)-01209876-法学太郎.docx（または.doc）

また、PC利用方式の場合も、答案用紙の1枚目が本人確認用に必要となるので（下記7.）、**答案用紙の1枚目を印刷**しておくこと（印刷が困難な場合は、大学で配布するので、掲示を確認すること）。

4. 本人確認や答案作成の確認、答案用紙の提出のために、学生証、答案用紙、自身の顔の写真を当日求めることになるので、それらの撮影ができるように準備しておくこと。

<試験当日>

5. **試験開始の定刻の30分前から**参加を受け付ける。受験者は、早めにZoomを立ち上げ、待機すること（入室・参加のために時間がかかり、試験開始定刻後に入室・参加するこ

ととなっても、その分の解答時間を与えることはしない。)。試験開始15分前から注意事項を読み上げるので、それまでにZoomを立ち上げ、参加すること。入室・参加は、ECCSクラウドメールアカウントで行うこと。写真データや解答済みのファイルを送信する予定のスマートフォン、PCについては、あらかじめECCSクラウドメールにログインしておくこと。

6. 試験問題のパスワードや問題の訂正等はZoomの画面を通じて連絡するため、試験中は、試験終了後退出の許可があるまで、Zoomへの接続を常時維持すること。
7. 試験開始前に監督者の指示に従って、答案用紙1枚目の冒頭の欄に、氏名、学籍番号、科目名等太枠内の所定の事項を記載したうえで、解答用の部分に学生証を置き、学生証と一緒に、冒頭の欄のみ記載済みの白紙の解答用紙の写真を撮影すること（PC利用方式の場合には、答案用紙の1枚目を印刷したものに氏名、学籍番号、科目名等太枠内の所定の事項を記載し、解答用の部分に学生証を置いて、学生証と一緒に冒頭の欄の手書き記載済みの解答用紙の写真を撮影すること）。続いて、自身の顔を撮影すること。監督者の指示に従って、これらの写真データを、事前に指示された提出フォルダに提出することになる。これらの写真データは、受験者の本人確認のための情報となる。顔写真は、必ず学生証と1枚目の解答用紙の写真を撮影した後に撮影すること。事前に撮影した写真を利用した場合は解答を無効とする場合がある。

なお、これらの写真データは試験終了後にも提出を求めるので、消去しないこと。（Googleフォームの撮影機能を使用した場合、PC等またはスマートフォンにデータが保存されないため、注意すること。また写真のファイル形式はJPEG形式とすること。事前に使用する機器で撮影する写真がどのようなファイル形式で保存されるか、拡張子等を確認しておくこと。

（例）使用機器が iPhone の場合

- ①「設定」から「カメラ」を選択
- ②「フォーマット」を選択
- ③「互換性優先」を選択した上で、撮影した写真が jpeg ファイル形式になっていることを確認すること。

8. 監督者の合図により試験を開始する。この試験開始の時点で、試験問題のパスワードを画面上に表示する。パスワードは他人に伝達しないこと。違反行為は、試験における不正行為として扱われる場合があるので注意すること。
9. 試験開始後30分まで（複数のブロックに分かれて実施する試験の場合は最初のブロックの試験開始後30分まで）は遅刻を認める。遅刻者は、7. で撮影した写真データを添付して、下記連絡先電子メールアドレスまで遅刻して入室したことを連絡すること。電子メールの件名に科目名と遅参の旨を記載すること。受験資格を確認次第、必要な情報とともにパスワードを付していない試験問題のデータを送付する（遅刻の上限は電子メールの送信時間による）。

<答案の作成と提出>

10. 答案の作成にあたっては、インターネット上の情報や文献等を含め、参照は自由である。ただし、インターネット上で公開されている記事等を含め他人の著作物を剽窃するなどしてはならない。
11. 答案の作成にあたっては、他人に相談をしたり、助言・指導を求めたり、答案の全部

または一部の作成を依頼してはならない。また、試験中に答案の作成に関し、他人に対して相談にのったり、助言・指導をしたり、他人の答案のための文章を作成してはならない。これに反した場合には、不正行為と扱い、東京大学学生懲戒処分規程に基づき、厳正に対処する。

12. 手書き方式の場合、答案の作成は、ペン又は万年筆（ただし、インクが消しゴムで消せないものに限る。）を使用する。なお、修正液・修正テープの使用は認めていない。PC利用方式の場合、指定の解答用のファイルにWordで回答を入力して答案を作成する。ファイル形式を変更したり、指定したレイアウトを変更したりしてはならない。
13. 答案用紙冒頭の所定欄に続けて記載されている「注）解答に際して、受験者心得において不正行為とされている行為を行わないことを誓約します。」の内容を確認し、手書き方式の場合はチェック欄にチェック、PC利用方式の場合は「×（ばつ）」を削除し、「○（まる）」のみとすること。
14. 試験開始後、試験を放棄して退出することができる。試験を放棄する場合には、上記7.で撮影した2通の写真データを添付して、放棄する旨を電子メールで連絡すること（宛先は、下記連絡先電子メールアドレス）。電子メールの件名に科目名と放棄の旨を記載すること。事務局からの確認メールの受信によって、放棄の手続が完了となる。放棄の効果は、通常の定期試験の場合と同様（不可または未受験）である。病気等の客観的事由によるものでない限り追試験の受験も認めない（法学部規則第12条第3項参照）ので注意すること。
15. 試験を放棄する場合を除き、試験時間中に答案を提出して退出することは認めない。答案は、試験終了後に、監督者の指示に従って提出すること。
16. 試験終了の合図によって、直ちに解答を終了し、答案用紙冒頭の所定欄の記載とチェック欄のチェック（PC利用方式の場合は○）を確認すること。監督者の指示に従い、手書き方式は答案用紙を撮影またはスキャンし、PC利用方式は答案データを保存すること（PC利用方式の場合で、複数のブロックから成る試験の場合には、それぞれのブロックの解答時間が終了するごとに答案データを保存すること）。
17. 試験終了後、監督者の指示に従い、次のデータを事前に指定されたGoogleフォームにアップロードすること。

○試験開始前にアップロードした、学生証と冒頭の欄のみ記載済みの白紙の解答用紙の写真（PC利用方式の場合、答案用紙1枚目を印刷し必要事項を記入したものの上に学生証を置いた写真）

○試験開始前にアップロードした、自身の顔写真

○（手書き方式の場合）答案（白紙を含める）を1枚ずつ撮影もしくはスキャン（白紙も含めて1枚ごと）したデータ（ファイル形式はJPEG形式もしくはPDF形式とする）

（PC利用方式の場合）PC等で作成した答案のファイル（複数のブロックから成る試験の場合には、それぞれのブロック終了時に答案のファイルを提出すること）。

データの提出については、アップロードがされると、自動的に応答メールが送信される。それをもって提出を確認すること。**試験終了後、10分以内に提出ができなかったときは、試験終了後、15分以内にウェビナーで指示されたURLにデータを提出すること。**このURLへの提出にはECCSクラウドメールアドレスやUTokyo Accountへのログインは不要である。できなかったときは問い合わせ先電話番号に電話をすること。

また、手書き方式の場合には、答案用紙の原紙も、郵送または法文1号館の投函ボックスへの投函のいずれかの方法により必ず提出すること。提出の期限等は、別途、指示

する。

18. 手書き方式の場合も、採点は、アップロードされた答案データを基準として行う。答案データが解読できない場合や一部の答案用紙をアップロードしなかった場合であっても、アップロードされた答案データに限って、採点の対象とする。答案データの提出に際しては、自らが撮影またはスキャンしたデータが答案用紙の全体を鮮明に記録しているか、慎重に確認すること。

<監督者等の指示の遵守、質問等監督者への連絡>

19. 試験中は、すべて監督者の指示に従わなければならない。試験内容に関する質問や連絡事項があるときは、**ZoomのQ&A機能を用いて**監督者に連絡すること。チャット機能は使用しないこと
20. 試験開始15分前から試験終了までの間に、接続障害等により、Zoomへの参加ができなくなったときは、下記連絡先電子メールアドレスへの電子メール送信により連絡すること。電子メールを送信できない場合、または、電子メールを送信したが、送信から10分以内に返答のメールを受信しなかった場合には、問い合わせ先電話番号に電話をすること。

<全般的な注意事項>

21. 試験は公正に行われるべきであり、不正な行為は厳に慎まなければならない。このことは受験者の守るべき規律として当然のことであるが、本学部の試験に際してはこの点特に注意されたい。

<当日の連絡先電子メールおよび問い合わせ先電話番号>

当日の連絡先電子メールおよび当日の問い合わせ先電話番号は次のとおりである。

電子メール `gakubu_exam_office[at]j.u-tokyo.ac.jp` ※[at]を@に。

電話番号 03-5841-3109 (学部チーム)

(参考) 試験の流れ (【 】はPC利用方式の場合)

試験開始定刻30分前～ Zoom入室開始

マイクはミュートにし、ビデオはオフにする

試験開始定刻15分前 注意事項の読み上げ、必要事項の伝達

答案用紙の冒頭の太枠内の所定欄に氏名等の必要事項を記載し、学生証と一緒に撮影

【答案用紙1枚目を印刷したものに、必要事項を記入し、学生証と一緒に撮影】

自身の顔を撮影

撮影データを指定されたGoogleフォームに提出

試験開始定刻 試験開始の合図 (監督者からの音声)

画面上に、試験問題のパスワードを表示

試験問題 (事前にUTASを通じ入手) にパスワードを入力して開封

試験開始

試験終了5分前 試験終了5分前の通知（画面と監督者からの音声）

試験終了定刻 解答止めの合図（監督者からの音声）

答案用紙冒頭の太枠内の所定欄の必要事項の記載、チェック欄のチェック【○】を確認

答案用紙の撮影

【答案データの保存】

試験終了後10分以内

試験開始前にアップロードした、冒頭の所定欄に記載・入力した答案用紙と学生証の写真【あらかじめ印刷した答案用紙1枚目に必要事項を記入したものと学生証の写真】、自身の顔写真、解答済み答案用紙の撮影・スキャンデータ【解答済みのファイル】を提出フォルダにアップロード

※アップロードされると、その旨の自動応答メールが配信される。

※10分を超えて提出ができないときは、ウェビナーで指示されたURLにデータを提出。

【<ブロックから成る試験の場合>】

ブロック毎に上記の流れによるが、答案用紙の提出は、ブロック終了後行う。

<試験開始時刻に遅れて参加する場合>

答案用紙の冒頭の太枠内の所定欄に氏名等の必要事項を記載し【あらかじめ印刷した答案用紙1枚目に氏名等の必要事項を記載し】、学生証と一緒に撮影

自身の顔を撮影

連絡先電子メール宛てに、電子メールに添付して遅刻した旨を連絡すれば、他の必要な情報とともにパスワードのない試験問題を送付する。

上記の遅刻を告げる電子メールは**試験開始30分の間のみ**受け付ける。それ以降の遅刻は認めない。

<放棄をする場合>

はじめに撮影した答案用紙・学生証【あらかじめ印刷した答案用紙1枚目に必要事項を記入したもの・学生証】、顔写真のデータを添付して、連絡先電子メールアドレスに電子メールでその旨を連絡。

※本件「受験者心得」は、事前に熟読してオンライン筆記試験に臨むこと。また、オンライン筆記試験中のトラブルに備えて、事前に印刷するなどして、オンライン筆記試験の際に常に参照できるように準備をすること。

※ZoomやGoogleフォームがトラブル等により全面的に使用できなくなった際の代替措置としてWebexによる試験進行、Microsoft Formsによるデータの提出を予定している。URL等については後日通知する。

オンライン筆記試験における解答済み答案用紙の提出について【手書き方式のみ】

『受験者心得（オンライン筆記試験）〔法学部〕』に記載のとおり、手書き方式の筆記試験における解答済みの紙媒体の答案用紙は、下記の要領で、提出期限までに、郵送または法文1号館の投函ボックスへの投函のいずれかの方法によって提出する必要がある（PC利用方式の場合は、紙媒体の答案用紙を提出する必要はない）。答案用紙の提出がない場合、不可または未受験として扱われる場合があるため、注意すること。**なお、オンライン試験終了後に、答案用紙の記載内容を修正する行為は不正行為となる。**

記

【提出期限】

- ・1月14日（木）～22日（金）に実施される試験：1月27日（水）（必着）
- ・1月25日（月）～29日（金）に実施される試験：2月3日（水）（必着）
- ・2月1日（月）、2日（火）に実施される試験：2月5日（金）（必着）
- ・2月3日（水）に実施される試験：2月8日（月）必着

【郵送する場合】

- ・提出先住所 113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学法学政治学研究科 学部チーム 宛
- ・郵送の方法を問わない（普通郵便で郵送しても構わない）。
- ・封筒表面に「答案在中」と記載すること。
- ・到着した旨の連絡は行わないので、確認したい場合は簡易書留、レターパックなど追跡ができる方法をとること。

【持参する場合】

- ・提出場所 法文1号館2階学部チーム窓口横のボックス
- ・提出日時 2021年1月14日（木）～2月8日（月）10時～15時
*平日に限る。
*1月15日（金）は大学入学共通テスト準備のため建物内への立入不可。

【提出方法】

科目毎にホチキス止め等して、まとめて提出すること。
複数の科目の答案を一括して提出することも可能である。

2020年12月25日 法学部学部チーム

オンライン筆記試験における答案用紙の配付について

『受験者心得（オンライン筆記試験）〔法学部〕』に記載のとおり、答案用紙は自分で印刷して用意することが原則になりますが、印刷が困難な場合には、下記のとおり、大学で答案用紙を配布します。

なお、新型コロナウイルスの感染状況が悪化した場合には、大学での配布を中止する場合があることにご留意下さい。

記

【日時】 1月5日（火）～2月3日（水）の平日

10時～13時、14時～15時

※2月3日（水）のみ13時まで

※大学入学共通テストの準備のため、1月15日（金）は閉室

【場所】 本郷キャンパス 法文1号館2階 学部チーム窓口

- ・手書き方式の答案用紙（3枚で1セット）を3セット、PC利用方式の答案用紙1枚目を3枚配布します。これ以上必要な場合は、各自でコピーして使用して下さい（モノクロコピーでも可）。

2020年12月25日 法学部・学部チーム

オンライン筆記試験の試行テストについて

法学部の A セメスターおよび通年科目の期末試験は、オンライン筆記試験の形態で行われます。

下記の日程で A セメスターのオンライン筆記試験の試行テストを実施いたします。これまで法学部のオンライン筆記試験を受験していない方は、いずれかの日程で試行テストに必ず参加して下さい。

また、PC 利用方式は S セメスターになかった実施方法であり、さらに手書き方式についても S セメスターの実施方式と若干違っている点がありますので、S セメスターのオンライン試験を受験した人にも、参加をお奨めします。参加の有無にかかわらず、受験者心得を熟読してください。

記

第 1 回：1 月 12 日（火曜）17 時～18 時 20 分（予定）

（解答開始時刻：17 時 30 分（予定））

第 2 回：1 月 13 日（水曜）13 時 30 分～14 時 50 分（予定）

（解答開始時刻：14 時 00 分（予定））

各日共に、**解答開始時刻 30 分前までに Zoom に入室**してください。解答開始時刻 15 分前から重要な事前説明がありますので、遅れないように入室をしてください。

* この試行テストは、実際のオンライン試験と同様の条件で、試験問題の提示、答案用紙や本人確認情報の撮影、データの提出などを試行することによって、学生のみなさんにオンライン筆記試験の進行についてご理解いただくことを目的としています。まず**受験者心得を熟読**して、試行テストに臨んで下さい。

* 試行テストに参加するためには、ネットワークにアクセスできる通信環境、パソコンまたはスマートフォン（撮影機能を有するもの）が必要となります。

* また、事前準備として、**試験問題のデータをダウンロード**し、手書き方式のオンライン筆記試験用の答案用紙（3 枚で 1 セット）、PC 利用方式の答案用紙の 1 枚目を印刷し、かつ、**PC 利用方式の解答用ファイルをダウンロード**することが必要です。自宅等で試行テストに参加することが困難な場合は、大学の教室（22 番教室）から参加することも可能です（別紙「オンライン筆記試験の教室受験について」を参照して下さい）。

* 試行テスト用の試験問題、答案用紙のデータ、PC 利用方式解答用ファイル、試行テスト用の URL 等の情報は、試行テストの前日の正午までに UTAS 内の掲示板「授業用掲示板→レポート・試験情報」にアップロードします。

* 試行テストは、第 1 問を PC 利用方式で、第 2 問を手書き方式で、実施します。PC 利

用方式だけを体験したいという人は、第1問終了後、退出することができます。

* 試行テストの流れ（予定）は次のとおりです。時刻は、あくまで目安です。

	第1回（1月12日）	第2回（1月13日）
Zoom入室	17:00	13:30
試験前説明開始	17:15	13:45
第1問（PC利用方式）解答開始	17:30	14:00
第1問解答終了・答案データ保存、答案データ等提出（アップロード）	17:40	14:10
第1問提出終了	17:50	14:20
第2問（手書き方式）解答開始	17:55	14:25
第2問解答終了・答案用紙撮影／スキャン、答案データ等提出（アップロード）	18:05	14:35
終了	18:20	14:50

オンライン筆記試験の教室受験について

オンライン筆記試験は、スマートフォンまたはPCを利用して自宅等で受験することが原則となります。もっとも、自宅等で受験することが困難である事情がある場合には、教室で受験することを認めます。希望者は、1月7日(木)までに、下記の事項を明記した上で、学部チームまたは大学院チームまで、「教室受験の希望」という標題でメールを送信して下さい。

- ・学籍番号、氏名
- ・受験予定科目および実施日時
- ・自宅等で受験することが困難である理由

*教室で受験する場合も、受験の条件は自宅等での受験と同一です。受験者は、スマートフォンまたはPCを持ち込み、オンライン試験用のZoomにアクセスして、受験することになります。持ち込みは一切自由であり、PCやスマートフォンでインターネットの情報にアクセスすることも可能です。ただし、教室受験の学生間で相談する行為は不正行為となります。

*PCなどの機材や六法の貸与は行いません。答案用紙は、受験者自らが用意するのが原則としますが、希望があれば配布します。

*自宅等で受験する場合と同様に、①解答前の答案用紙1枚目（法科大学院は答案整理票）及び学生証、②顔写真、③解答後の答案用紙を撮影して、データを送信する必要があります。（PC利用方式の場合、撮影するのは、①あらかじめ印刷した答案用紙1枚目の太枠内の必要事項を記入したもの〔法科大学院の場合、あらかじめ印刷した答案整理票に必要事項を記入したもの〕及び学生証、②顔写真の2点のみです。）撮影機能を有するスマートフォンまたはPCが必要ですので、持参して下さい。**撮影機能を有する機材を有しない場合は、事前にご相談下さい。**

*1月7日以降であっても、急な事情の変更によって教室受験の必要が生じた場合には、試験3日前の17時まで、教室受験の追加申請を受け付けます。その場合には、上記の事項を明記して、学部チームまたは大学院チームに連絡して下さい。それ以降に自宅等での受験が困難になった場合は、学部チームまたは大学院チームに連絡して、その指示を仰いで下さい。

*感染状況が急速に悪化した場合、教室受験を実施することが不可能になる場合があります。その場合には自宅等で受験をお願いせざるを得ません。仮に、自宅等での受験がおよそ不可能な事情があれば、学部チームまたは大学院チームに連絡して、その指示を仰いでください。

*学部チーム、大学院チームの連絡先は下記のとおりです。

学部チーム：gakubu_exam_office[at]j.u-tokyo.ac.jp ※[at]を@に。

大学院チーム：sl_exam_office[at]j.u-tokyo.ac.jp ※[at]を@に。